

テクノロジー

先端技術を活用し、迅速に情報を提供するシステムを構築

大会運営のための情報システム、通信インフラ、音響/映像機器、IT環境を整備する。

競技結果をリアルタイムに放送事業者、メディアに提供する。

競技スケジュール、宿泊・輸送などに関わる情報を大会関係者に提供する。

競技計測

競技計測・得点情報の取得配信
スコアボード
55競技

各種情報システム

大会管理・事務管理システム
輸送管理システム

通信インフラ

放送事業者用映像回線
データ通信、ケーブルテレビ
放送用総ケーブルルート長 10,000km

無線通信

1万5,000台

音響/映像機器

音響システム
大型映像装置 80台

観客向けITサービス

デジタルサイネージ 800台
観客向けWi-Fiネットワークの
アクセスポイント 9,000台

IT環境

パソコン1万2,000台、プリンター1,500台
ITセキュリティ、携帯電話不感地対策



※現時点の積算上の数量・人数等

今後の検討事項

通信インフラ

レガシー化、スペック見直しの検討

サービスレベル

大型映像装置・デジタルサイネージのレガシー化の
検討、スペック・台数の精査

広域化に伴う経費増

1/3の会場が東京都以外となることに伴い、
テクノロジーの経費が増加見込み